

2026年3月31日 14時



Setouchi Vélo 協議会事務局
国土交通省中国地方整備局
国土交通省四国地方整備局
本州四国連絡高速道路株式会社

～歩行者・自転車・自動車 みんなでつくる「思いやりロード」を目指して～

Setouchi Vélo 協議会 「令和8年春の全国交通安全運動」期間における 『シェア・ザ・ロード』啓発活動の取り組みについて

Setouchi Vélo 協議会(以下「当協議会」)では、歩行者、自転車(サイクリスト等)、自動車(ドライバー)が互いの立場を思いやる気持ちを基本として、道路を安全・快適に共有する『シェア・ザ・ロード』の啓発活動に取り組んでいます。

この度、全国一斉に実施される、「令和8年春の全国交通安全運動」の期間中、当協議会に加盟する団体が一同に協力し、瀬戸内地域とその周辺地域において下記の取り組みを行います。

交通ルールの再確認と共に、“思いやりのある道路利用”を社会に広げることを目的としています。

記

1. 実施期間

2026年4月6日(月)～15日(水) (「令和8年春の全国交通安全運動」期間)

2. 実施内容

『シェア・ザ・ロード』チラシ配布及びポスター掲出等による啓発活動の実施

※チラシ配布・ポスター掲出は、通年実施。当該期間においては、交通安全キャンペーンでのPRのほか、加盟団体施設等のデジタルサイネージへの掲出など、啓発活動を強化します。

※チラシ裏面では、2026年4月に導入される自転車の青切符制度を紹介し、当協議会として自転車の交通ルール遵守を呼びかけます。

3. 実施場所

- ・ 当協議会に加盟する団体の関係施設
 - ・ 一部配布エリアの県警管轄施設
 - ・ 本州四国連絡高速道路(株)が管理する一部サービスエリア・パーキングエリア(※)等の各所
- ※(淡路 SA、与島 PA、来島海峡 SA 等)

4. 実施団体数(加盟団体数)

89 団体 (2026年3月時点)

以上

【参考】 Setouchi Vélo協議会とは ※ホームページ(<https://setouchivelo.jp/>)

瀬戸内地域等を、環境に配慮し安全で快適な、世界にも認められる「サイクリングの推進エリア」に育てることにより、瀬戸内地域等のブランド価値の向上を図り、持続的な地域振興を実現することを目的として、2022年10月29日に地方自治体、国、経済連合会等で構成する「Setouchi Vélo 協議会」を設立し、現在では89団体が所属する組織となっています。

※Vélo=自転車(フランス語)



Setouchi Vélo 協議会 ホームページ
<https://setouchivelo.jp/>

- 構成団体 兵庫県、岡山県、広島県、山口県、鳥取県、島根県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、
(順不同) 近畿地方整備局、中国地方整備局、四国地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監理部、
中国運輸局、四国運輸局、中国経済産業局、四国経済産業局、一般社団法人中国経済連合会、
四国経済連合会、一般社団法人せとうち観光推進機構、
一般社団法人四国ツーリズム創造機構、本州四国連絡高速道路株式会社
- 参加団体 南あわじ市、淡路市、神戸市、明石市、川西市、上郡町、洲本市、備前市、玉野市、真庭市、
(順不同) 美作市、新見市、津山市、総社市、高梁市、和気町、呉市、尾道市、福山市、竹原市、江田島市、
東広島市、三原市、安芸太田町、柳井市、周防大島町、大山町、南部町、米子市、境港市、
鳥取市、益田市、鳴門市、小松島市、吉野川市、三豊市、土庄町、多度津町、坂出市、観音寺市、
さぬき市、東かがわ市、小豆島町、高松市、綾川町、今治市、上島町、松山市、宇和島市、
八幡浜市、伊予市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町、松前町、
香南市、いの町、宿毛市、一般財団法人本州四国連絡高速道路協会、
公益社団法人福山観光コンベンション協会、鳥取県商工会連合会

〈「シェア・ザ・ロード」チラシ・ポスター(表面)〉

みんなで作る「思いやりロード」 SHARE THE ROAD

道路はゆずりあって使おう!



SHARE THE ROAD (シェア・ザ・ロード)とは?

サイクリスト等 ドライバー
歩行者、自転車、自動車がお互いの立場を思いやる気持ちを基本として道路を安全・快適に共有することを言います。

自転車を
利用する
皆さんへ

① ヘルメットを
着用しましょう

事故による被害を軽減させるため
ヘルメットを正しく着用しましょう。



② 自転車保険に
加入しましょう

自転車運転中のケガや相手への
損害補償に備えて保険に入りましょう。



Setouchi Vélo協議会



Setouchi Vélo協議会
ホームページ



《構成団体》

兵庫県、岡山県、広島県、山口県、鳥取県、島根県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、近畿地方整備局、中国地方整備局、四国地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監視部、中国運輸局、四国運輸局、中国経済産業局、四国経済産業局、(一社)中国経済連合会、四国経済連合会、(一社)せとうち観光推進機構、(一社)四国ツーリズム創造機構、本州四国連絡高速道路(株)

自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう!

全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務になっています。

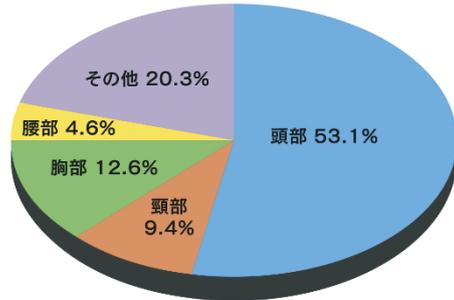
なぜヘルメットをかぶらないといけないの?

転倒時の損傷箇所の割合

転倒時の損傷部位を見ると、頭部が圧倒的多数を占めています。転倒の際に路面や縁石で強打する、あるいは自動車等との衝突で車輪に巻き込まれたり、車体や外板で強打するケースが多いことが原因といわれています。

これらによって頭蓋骨骨折や脳挫傷、脳しんとうを起こすケースが多く、死亡に至っています。当然ながら、頭部に損傷を受けると、他の部位に比べ死亡割合が著しく高くなり、死亡に至る事故につながります。

まずは頭部を守る、つまりヘルメットの着用が何よりも大切であると言えます。



自転車乗用中死者の人身損傷主部位 (令和2年～令和6年合計)

※令和2年～令和6年合計
 ※出典:「頭部の保護が重要です～自転車用ヘルメットと頭部保護帽～」
 ※(警察庁: <https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/toubuhogo.html>)を加工して作成

装着時と非装着時の比較など

停車中の自転車の転倒時に頭蓋骨にかかる力(骨折の危険性)や脳にかかる力(脳しんとうの危険性)はどの程度かを検証するため、「ヘルメット装着の場合」と「ヘルメット未装着の場合」の人体モデルを使った「転倒実験」をもとにシミュレーションした結果、ヘルメットの重要性が浮き彫りとなりました。

※引用「ヘルメットをかぶろう!」株式会社オーケーカブト
<https://www.okkabuto.co.jp/hg/ind.html> 2025年1月13日参照

◆頭部に損傷を負うと、60%超が死亡に至る重大事故に!



※出典「交通事故分析レポートVol.97」/(公財)交通事故分析センター(平成24年11月)

青切符(自転車の交通反則通告制度)導入について

※自転車が対象とされている反則行為(下記は一例です)



ながらスマホ
 (携帯電話使用等(保持))
 反則金 12,000円



遮断踏切立入り
 反則金 7,000円



ブレーキなし自転車
 (自転車制動装置不良)
 反則金 5,000円



二人乗り
 (軽車両乗車積載制限違反)
 反則金 3,000円



傘さし運転
 (公安委員会遵守事項違反)
 反則金 5,000円



並進禁止違反
 反則金 3,000円

※引用元 岡山県警察「交通安全ニュース(自転車の交通違反が青切符の対象に!!)」
<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/attachment/397504.pdf>
 ※詳細 警視庁「自転車の交通反則通告制度(青切符)の導入」
https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/bicycle/cycle_kaisei.html